

先週の回答



「どんな人間でも、たいがい一生に一度はその人間に相応した花々しい時期というものがあるって、お父さん言いましたよね」

「言ったな」

「卒業文集に、将来の夢とか書くのは意味がない。夢に向かって挑戦する、チャレンジ精神がなくては夢は叶えられないとも言いましたよね」

「言ったな」

「一生に一度くらい螻蛄之斧(とうろうのおの)になれとも言いましたよね」

「言ったな」

「とうろうのおのって何ですかって、ぼくが訊いたら、自分の力量をわきまえず、むやみに強者に立ち向うことだと言いましたよね」

「言ったな」

「で、何でそれを螻蛄之斧っていうんですかって訊いたら、むかし中国の荘公という人が狩猟に出かけたとき、一匹の虫が前足をあげて車輪を打とうとした。荘公が御者に虫の名を尋ねると御者は『カマキリと申して、進むことを知って退くことを知らぬ虫です。身のほど知らずにも、われらに近づいたものです』と答えた。荘公は『これが人間であったならば天下の勇者になれたであろう』と言い、車を回り道させてカマキリを避けたという故事で、カマキリを螻蛄之斧と教えてくれましたよね」

「教えたなあ」

「つまり、何もしないのがいちばんいけない。たとえ結果はどうあれ、負けるかわかっていても、カマキリのように無鉄

砲に立ち向かうことが、一生に一度くらいなくては、何で生まれてきたかわからんだろうとも言いましたよね」

「言ったな」

「螻蛄之斧をやってみました」

「ん・・・？」

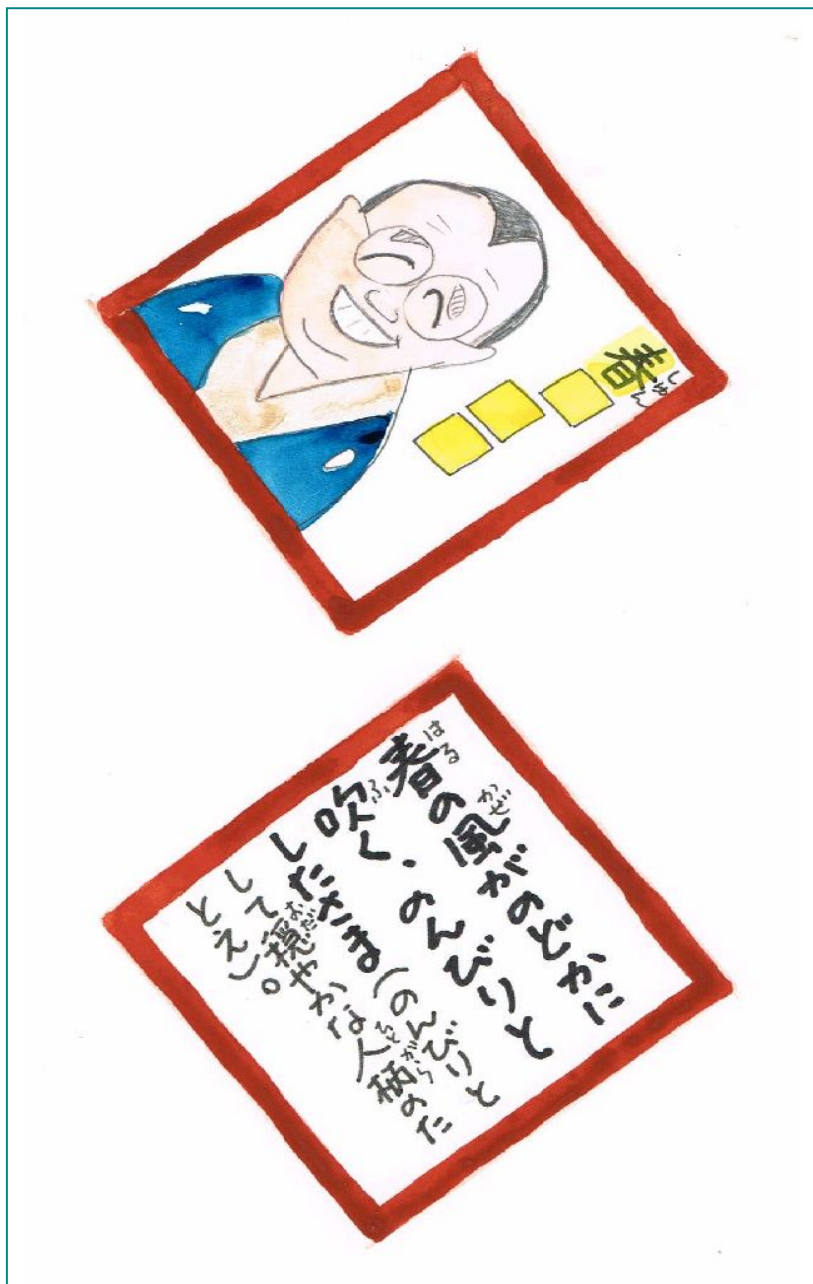
「クラスのみんなの憧れのマドンナ、小池百合絵というコに勇気を出して、たとえ振られてもいと覚悟して告白(チャレンジ)しました」

「で、結果は？」

「張り倒されました」



今週の問題



□の中に漢字を埋めて
四字熟語を完成させてください。